

■ エルサレムでイエス様を信じた人々

エルサレムの神殿でしるしを行ってから、イエス様は過ぎ越しの祭りの間、エルサレムにいました。多くの人々は、イエス様のしるしを見て、その名を信じました。しかし、イエス様は、彼らにご自分を任せませんでした。なぜなら、イエス様はすべての人の心を知っていたからです。イエス様に対して、人々が持っていた信仰は、正しいものではありませんでした。彼らは、イエス様ではなく、ただ目に見えるしるしを追い求めていたのです。ニコデモという人も、しるしを見てイエスを信じた人でした。そのようなニコデモがある日、イエス様に会いに来ました。ニコデモは自分が抱えている霊的な問題について、イエス様に相談したかったのです。

■ メッセージのポイント

ニコデモは宗教に熱心な、パリサイ人でした。そして、ユダヤ人の議員で、教師でもありました。敬けんな信仰者であり、社会的にも尊敬される人です。旧約聖書に詳しい人で、律法を厳格に守る人でした。しかし、彼には自らは解決できない霊的問題がありました。イエス様はニコデモに出会う前から、彼のことをよく知っていました。そして、3つの解答を教えました。

- (1) 新しく生まれなければ、永遠のいのちを持つことはできません。

- (2) 御子の十字架と信仰によらなければ、新しく生まれることはできません。

- (3) 神が御子をお与えになったのは、世を愛されたからです。